

大会名	平成30年度三重県高等学校バレーボール春季大会 兼 中部総合高校の部三重県予選大会 (6人制 男子)		参加数	40
期 日	平成30年 4月 28日 4月 29日	会 場	サオリーナ	
戦 績	1位	松阪工業高等学校	3位	海星高等学校
	2位	皇學館高等学校	4位	津工業高等学校
<p>戦 評</p> <p style="text-align: center;">             松阪工業 2 <math>\left( \begin{array}{ccc} 25 &amp; - &amp; 19 \\ 12 &amp; - &amp; 25 \\ 25 &amp; - &amp; 19 \end{array} \right)</math> 1 皇學館         </p> <p style="text-align: center;">R (高林 紘) U (奥 康郎)</p> <p>決勝は、新人大会優勝校の皇學館高校と、新人大会は4位であったが、安定した戦いぶりで勝ち上がった松阪工業高校の対戦となった。</p> <p>第1セット、序盤は互いにミスがあり、一進一退の攻防となる。中盤、15-15から松阪工業が皇學館②を捕まえ3連続得点する。そこから流れが松阪工業へと傾き、⑦のスパイクで終盤さらに突き放し、第1セットを奪った。</p> <p>第2セット、序盤に皇學館が②①の2本のブロックでリードを奪う。追い上げようとする松阪工業であったが、連続でサーブミスをしてしまう。中盤以降、皇學館⑤のブロック、①のサービスエースなどにより一方的な展開になり、そのまま皇學館が第2セットを奪った。</p> <p>第3セット、序盤は皇學館がリードするが、サーブミスやネットタッチがあり、松阪工業が中盤で追いつく。皇學館1点リードの16-15から松阪工業⑤のスパイクや皇學館のスパイクミスにより、松阪工業が6連続得点し試合を決定づけた。</p> <p>白熱した試合展開を見せてくれた両校であったが、互いにミスが多く、インターハイに向けて課題の残る内容であった。優勝した松阪工業には、中部総合選手権でのさらなる活躍に期待したい。</p> <p style="text-align: right;">              戦評者名 (高体連強化委員 大西 啓介)         </p>				
備考	1. 各種別、男女毎に戦評をする。 2. 戦評は250字程度でまとめる。 3. リーグ戦で決勝戦の無い大会は、大会全体の所感をまとめる。			

県大会決勝戦 戦 評 用 紙 (記録抄用)

大会名	平成30年度三重県高等学校			男 女	(6) 9	参加数	45チーム
期 日	平成30年4月 28日 4月 29日	会 場	津高校 神戸高校 サオリーナ				
戦 績	1位	三重高等学校		3位	四日市商業高等学校		
	2位	津商業高等学校		4位	津田学園高等学校		
<p>戦 評</p> <div style="text-align: center; margin: 20px 0;"> <math display="block">\text{三重高等学校} \quad 2 \quad \left( \begin{array}{c} 25-23 \\ 26-17 \end{array} \right) \quad 0 \quad \text{津商業高等学校}</math> </div> <p style="text-align: center;">R(森西 基雄)・U(並木 智香)・IF(栗本 靖子)</p> <p>今大会は、三重テレビが決勝戦を放送するという事で緊張感ある大会となった。</p> <p>昨年度インターハイ予選から優勝が遠ざかっている津商業は、1年生からエースとして活躍した三林愛理をセンターにコンバートし、高い打点から打ち下ろすスパイクで点数を重ねた。新戦力の1年生レフトの中津、ライトにコンバートした2年生山口はスパイクコースをうまく打ち分け三重高校のブロックをかわしスパイクを決めた。</p> <p>昨年度の春高三重予選、新人戦と連覇の三重高校は、1年生からエースの福本夏海が安定したスパイク決定率を残した。センター陣も山川亜美、村尾瞳は速攻や時間差を織り交ぜ、津商業のブロックに的を絞らせなかった。城野怜奈はスパイクの本数こそ多くないもののブロックで得点に絡む場面が多く、三重高校の核となる選手に成長した。</p> <p>高さや速さの津商業に対し、ブロックやレシーブに安定感のある三重高校との決勝戦は、1セット目津商業がリードする場面もあったが終わってみればセットカウント2対0で三重高校が津商業を寄せ付けず勝利した。</p> <p>今年度は、地元インターハイということで2チームがインターハイに出場できる。決勝に残った三重高校、津商業だけではなく3位四日市商業、津田学園もインターハイ出場に十分チャンスがあり、インターハイをかけた戦いは始まったばかりである。</p> <p style="text-align: right;">(強化委員 梶野 道宏)</p>							
備考	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 各種別、男女毎に戦評をする。</li> <li>2. 戦評は250字程度でまとめる。</li> <li>3. リーグ戦で決勝戦の無い大会は、大会全体の所感をまとめる。</li> </ol>						